

＜2014年度計算力学技術者認定試験結果報告＞

計算力学技術者（上級アナリスト）8名が新たに誕生しました！

一般社団法人日本機械学会 イノベーションセンター

2014年度の計算力学技術者の認定は、固体力学分野の有限要素法解析技術者（上級アナリスト、1級、2級、初級）と、熱流体分野の解析技術者（上級アナリスト、1級、2級、初級）に振動分野の有限要素法解析技術者（1級、2級、初級）を加えた3分野11クラスです。

今年度は6回目の実施となる計算力学技術者（上級アナリスト）認定試験は、2014年9月23日に関東会場（日本機械学会会議室）にて実施致しました。

認定試験の実施に関しては、本会イノベーションセンター主催のもと、本会関連部門・支部の協力と、国内計算力学関連団体の協賛ならびに日本機械工業連合会、日本産業機械工業会、日本電機工業会より後援を頂きました。

今回の認定試験の結果と試験概要は下記のとおりです。

なお、2014年度の計算力学技術者認定試験の固体力学分野の有限要素法解析技術者（1級、2級）、熱流体分野の解析技術者（1級、2級）、ならびに振動分野の有限要素法解析技術者（1級、2級）は2014年12月20日に実施いたします。既に申込は締め切らせていただいておりますが、ご案内は本認定事業のホームページ上で公開しております。（<http://www.jsme.or.jp/cee/cmuintei.htm>）

記

試験種類	レベル	申込者数	一次試験受験者数	一次試験合格者数	二次試験合格者数	一次試験受験者数に対する合格率
固体力学分野の有限要素法解析技術者	上級アナリスト	9名	9名	9名	7名	77.7%
熱流体力学分野の解析技術者	上級アナリスト	1名	1名	1名	1名	100.0%

【一次試験概要】

(a)試験形式：書類審査

(b)審査内容： (1) 解析実務経験
(2) 携わった代表的な解析実務経験（1件）
(3) 携わった代表的なCAE解析プロジェクトの企画・マネジメント経験（1件）

(c)合格基準：2項目（A：解析実務経験の質，B：CAE解析プロジェクトの企画・マネジメント能力）をそれぞれ5段階評価し，2項目ともに4以上であること

【二次試験概要】

(a)試験形式：面接審査

(b)面接時間：30分

(c)審査内容： (1) 一次試験での提出書類に関するプレゼンテーション（15分）
(2) 一次試験（書類審査）申請書類及び本プレゼンテーション内容を含んだ口頭試問（15分）

(d)合格基準：3項目（A：解析実務経験の質，B：CAE解析プロジェクトの企画・マネジメント能力，C：倫理感・プレゼンテーション能力）をそれぞれ5段階評価し，3項目すべてが4以上であること

【固体力学分野の有限要素法解析技術者合格者氏名一覧】

柏木寛之 河島庸一 酒井秀久 陳内鉄生 西村律
野村尚志 宮本真一 (7名)

【熱流体力学分野の解析技術者合格者氏名一覧】

橋口真宜 (1名)

以上